

IMと一緒に 夢を叶えたあのひと。

青森県では、IMの伴走型支援を受けながら多様な業種で夢を実現している人が増えています。実際にIMからどのようなサポートを受け、どのようなステップで創業に至ったのか、4人の創業者にお話を伺いました。

Episode
01

わからないことを気軽に相談できる
頼れるIMとの出会い。



自家焙煎珈琲cogemame
くどう こうた
工藤 広太さん(三沢市)
令和2年4月、三沢市内にカフェ
を開業し夫婦二人三脚で経営。

― 支援制度を利用したきっかけは？

昔からコーヒーに思い入れがあり、いつかは自分の店を持ちたいと考えていて、コーヒーマイスターの資格を取ったり、その分野の人脈を広げたりして着々と準備を進めていました。いよいよ三沢市内に店舗を構えて創業しようというところまでこぎ着けたのですが、夫婦ともに飲食店での仕事経験がなかったため、飲食業の経営に関することを知りたくて相談しました。

― 創業・起業をお考えの方へのメッセージを！
今の時代、インターネット上に情報があふれているものの、必要な情報を個人で調べるには限界があります。詳しい人に直接聞いて教えてもらう方が効率的。県の支援制度という堅苦しく感じるかもしれませんが、とても気さくに教えてくれますよ。これから創業をお考えの方は、ぜひこの制度の活用をおすすめします。

担当IMから、支援した印象

ご夫婦のコーヒーへの熱意や今後の展望をお聞きし、お二人を包む空気感をそのまま店舗に反映できればすてきなお店になるはず、と直感しました。



(公財)21あおり産業総合
支援センター IM
いしかわ さとる
石川 悟さん

コーヒーの焙煎だけでなく、内装にもこだわったお店。心地よい一杯が味わえます。



Episode
02

挫折しかけるほどの道のりも
力強い後押しで乗り越え、創業が実現。



合同会社アリス
ほんどう えりこ
本堂 絵里子さん(青森市)
令和元年11月、青森市内に男女別の障がい者向けグループホームを開業。

― 支援制度を利用したきっかけは？

戸建住宅を活用した障がい者向けのグループホームをつくりたいと日本政策金融公庫に相談したところ、県の支援制度を教えてもらったのがきっかけです。すぐに相談の予約をし、そこから創業するまで一年近くお世話になりました。

― 制度を利用した感想は？
創業までに何が必要でどのような手順を踏めばいいのかなどが全くわからない段階で相談したので、アドバイザーをもらったというよりは一緒に作り上げてもらったといった感じでした。金融機関に提出する事業計画書の作成や補助金の対象となるかの確認、施設の物件探しに至るまで、さまざまな支援をしていただきました。イメージを的確な言葉にして説明できないことも多く、挫折しかけたこともありましたが、そのたびに背中を押してもらって、創業したら終わりではなく、追加融資を受ける際にまた相談に乗っていただき、今はなんとか事業を軌道に乗せることができました。

担当IMから、支援した印象

この事業をやりたいんだ！という強い思いを感じました。難局においても自分の意見をしっかり持ち、常に冷静に突き進んでいたのが印象的でした。



(公財)21あおり産業総合
支援センター IM
さいとう たくや
齋藤 拓也さん

「グループホームアリス」現在はアリス浜館、アリス八重田、アリス原別の3棟を運営しています。



かつたら、私は創業にこぎ着けることができなかつたかもしれませぬ。無料で相談できることも大きなメリットだと思いますよ。